第３学年通信

博文約礼（第３号）

令和３年７月１５日発行
福岡県立山門高等学校
第三学年主任　本園　明宏

1学期が終わりました。2年越しの大運動会の開催。1学期はそれに尽きると思います。開催に向けて、保護者の皆様には色々とご心配をおかけしたことと思いますが、保護者の皆様のご理解ご協力のもと、無事開催することができました。本当にありがとうございました。2年越しの大運動会は生徒達も試行錯誤の繰り返しでしたが、生徒会とリーダーを中心に本当によくやり遂げてくれたと思っています。毎日の苦労がにじみ出る大運動会であり、大運動会を通じて生徒はしっかりと成長できたと思います。

さて、ここで培った力を夏からは受験勉強に向けさせねばなりません。受験は団体戦です。大運動会で個が養った忍耐力と、学年全体で身に付けた協働性は受験でも必ず役に立つと思っています。大運動会に取り組む生徒達の姿から学んだことが2つあり、これらは受験勉強でも同じではないかと思っています。その1つは目標を持つことです。ブロックの優勝に向けて生徒全員が生き生きと全力を尽くしたように、受験においても必ず合格したいと思う目標が見つかれば、自ら進んで勉強できるようになるのではないかと感じました。もう1つは計画性です。特に中間目標をもって計画を立てていくことが重要ではないかと思いました。大運動会の練習も準備期間から含めると長い期間を要しましたが、リーダー達は4月から「企画書を出す」「第1回ブロック集会」「全体練習初日」「予行」と途中途中の中間目標に合わせて準備をしていき、大運動会当日では各ブロック立派に仕上がっていました。この中間目標を持つ計画的な準備というのは、受験においても同じであると思います。長い受験期間にただむやみやたらに勉強するのではなく、「～月の模試では○○の教科と○○の教科は偏差値・・・をとる」といったように中間目標を持たせていくことが大切だと感じました。生徒も教師も学び成長することができた大運動会での経験を生かし、夏からはしっかり受験勉強に切り替えさせていきたいと思っています。

（第3学年主任　本園　明宏）

生徒会長挨拶

2組　髙田　朱夏

保護者の皆様、こんにちは。山門高校生徒会長の髙田朱夏です。今年の大運動会は新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、無観客での開催となりました。3年生の保護者の皆様には、私たちの最後の大運動会ですので、私たちの姿を間近で見られることをとても楽しみにされていたことと思います。また、雨天延期のため平日開催となり、ライブ配信についてもお仕事の都合上、ご覧になれなかった方もいらっしゃったと思います。そういった方々に大変申し訳ないという思いを持ちつつも、2年越しの大運動会が開催できたことそのものを、私はとても嬉しく思っています。この大運動会にかけた思いを、ここに述べさせていただきます。

今年の大運動会のスローガンは「燁（ゆう）～新しい炎を灯せ～」です。「燁」という漢字には燃えるように輝くという意味が込められています。今まで行事をやれなかった分、各ブロックのリーダーを中心に山門生全員が輝いてほしいという願いを込めています。また、サブテーマにもあるように今の山門生で、今までの大運動会を超えられる新しい山門の大運動会を創り上げていくという気持ちも込めています。こうしたたくさんの願いのもと、14日の大運動会を私たちはやり遂げました。

2年越しの、しかも7月開催となった今年の大運動会は、当日に至るまでいくつもの困難がありましたが、生徒会やリーダーを中心に山門生全員で乗り越えることができました。山門生全員で共有した苦労や努力は、今後も山門生全員の心の糧となり、私たちをつなぎ続けてくれると思います。

そして14日まで私たちを支え応援してくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。今後も受験等でご迷惑をおかけするかと思いますが、ご声援引き続きよろしくお願いします。

Special Thanks to 生徒会

1組　栗田　望稔
1組　船津　真菜美
2組　樺島　知希
2組　井上　舞
2組　住野　礼於奈
3組　黒田　楓翔
5組　斉藤　羽音
5組　林　茉奈

大運動会　予行（7月6日　火曜日）

7月6日の火曜日には予行を行いました。まだまだこの時は未完成で、多くの修正や確認を随時挟みながらの予行でした。このままで本番は大丈夫なのかという緊張感や焦りが、ブロック長や応援団長の表情からも伝わってきました。

令和3年度　第23回　大運動会

14日の本番。結果は赤ブロックの完全優勝でしたが、甲乙つけがたい最高の大運動会でした。各ブロックの思いは後輩に受け継がれます。

赤ブロック　歓喜の瞬間！

一生懸命応援する姿も良かった！

最後はみんなで笑顔！

小論文講演会（第２回）

６月15日（火）7限に小論文講座の第2回目を行いました。今回の講座は、業者に送付しておいた各自の志望理由書が返却されており、その返却答案に対してどのように振り返りをするべきかお話ししていただきました。このご指摘を受けた書き直しを7月上旬に行っており、７月１４日に小論文リライト（書き直し）としてまた業者に送っております。

講師は前回と同じく、第一学習社　磨　清香（とぎ　さやか）先生

司会は3年2組の織田　凌地　さん

ブロック長としても活躍している牛島大翔さんや坂田響さんが質問に積極的に答えました

発表をする古賀　優太郎さん

謝辞は3年2組の野口　小冬音　さん

進路講演会

６月24日（木）7限に「進路実現に向けて」と題して、久留米ゼミナールの三浦寛幸先生にご講演いただきました。三浦先生は生徒全員に左下の「進路実現に向けて」という資料を配布くださり、入試状況や今後の学習のポイント等についてお話しされました。ここでも大切なポイントのいくつかをご紹介します。

ポイント　「入試直前まで伸びる現役生」

受験の直前まで現役生は成績が伸び続ける（裏を返せば、ギリギリまで伸びない生徒もいるということ）。だから最後まであきらめずに、最後のギリギリまで勉強し続けること。

ポイント　「一日最低４時間、一週間で合計３０時間」

学習時間においては、高校の授業以外に「一日最低4時間、一週間で合計30時間」。が全国平均。ただし、この時間は通常の学校生活（朝課外、1～6の授業、夕課外）があっている日々の平均。受験の天王山と言われる夏休みは、学習量を大幅にアップする必要がある。1学期から夏休みにかけて努力していない生徒は、2学期以降成績が伸びてこない。

ポイント　「高校の授業を中心に取り組む」

基礎学力が大切なため、1・2年次の教科書レベルの内容からしっかり理解しておくことが必要。また模試等もしっかり活用する。

謝辞は3年3組の武内　亮太さん

司会は3年3組の入江　菜々美さん

吹奏楽部　卒部演奏会

６月19日（土）山門高校の体育館で吹奏楽部の卒部演奏会を行いました。今年もマイピア高田での定演はできませんでしたが、3年生最後の演奏会を開くことができ、生徒達はとても喜んでいました。ご来校くださった保護者の皆様、ご足労いただき誠にありがとうございました。心より、お礼申し上げます。

歌に演奏に・・・教員音楽団大活躍！

有志の教員音楽団も参加しました。吹奏楽部とコラボできて、楽しかったです。

バドミントン部　九州大会出場！

５月に行われた福岡県高等学校総合体育大会バドミントン選手権大会（兼全九州高等学校体育大会）の福岡県大会において、古賀慶也さんがシングルスで3位入賞、そして赤瀬和弥さんと下川育真さんがダブルスにおいて同じく3位入賞しました。この結果により、３人は6月19日（土）と20日（日）に長崎で行われる九州大会の出場権を獲得するという快挙を成し遂げました。九州大会そのものは残念ながらコロナ禍において中止となってしまいましたが、山門高校バドミントン部が最後の大会において見事有終の美を飾りました。

バドミントン部主将　古賀　慶也さんのコメント

「九州大会が中止になってしまったことは大変ショックでしたが、最後の県大会で良い結果が残せたと思います。これからは勉強に切り替えて、大学受験を頑張っていきたいと思います。」

3年1組　赤瀬　和弥　さん　　3年1組　古賀　慶也　さん　　3年5組　下川　育真　さん

おめでとう！

夏休みに向けて取り組んでほしいこと～受験の天王山～

三者面談時にも配布資料としておりますが、教科から生徒に「夏休みに向けて取り組んでほしいこと」を下記にまとめています。

国語：8月全統マークにむけてではありませんが、9月のマークにむけて、8月16日（月）～20日（金）にマーク演習の特講をします。共通テストで点数を取る必要がある人は、ふるって参加してください（あくまでも自由参加です）。持ってくるものは筆記具と腕時計と、**第一志望に合格したいというやる気**だけです。***共通テストの国語200点で7割以上とれるか、5割くらいかでは入試に大きく左右します（その差40点！）。***わずか2、3点差でも落ちる入試において、この点数差は本当に大きな意味を持ちます。やる気がある人は、本気で特講に取り組んでください。

〈取り組んでほしいこと〉

（1）「古文単語330」を全部暗記する

（2）「新明説総合古典文法」の頻出品詞（動詞・形容詞・形容動詞・助動詞）の理解、敬語の理解、助詞の用法の理解、和歌の修辞法の理解等

（3）「意味から学ぶ頻出漢字」における漢字の理解、意味の理解

（4）「例文による　漢文の習得」の句法・語彙の理解

（5）特講等に参加し、演習を積む。配布される模試冊子にも取り組む。

数学

6月の模試ではⅠ・Aの偏差値がⅡ・Bより高い。これは受験勉強をチャートⅠ・Aから始めた生徒が多いから。少しずつではあるが確実に勉強の成果が出始めている！

・これから取り組んでほしいことは大きく3つ！

①教科書（Ⅰ・A・Ⅱ・B）の問題は完璧に仕上げる

②チャートの復習【YamaTubeに取り組み方動画があるので参考に】

③1学期に学習した問題を最低1周解きなおす

英語

○授業・課外・模試で解いた問題について、なぜできなかったのか？

― 分析したあとは、勉強のやり方の工夫・改善をしよう。

○文法・語法の問題でまちがえたところは、次回必ずできるようにする。

― 入試本番に次回はない！

夏休み期間に必ず1冊を1回仕上げる。まず、計画を立てること。

○出会った単語は、1つ1つ覚えていってるか？

― まず、つづりより意味から覚える。

○リスニングの内容が長くなるとなぜ解けないのか？

― ネイティブの音源を用いて音読練習。ネイティブの音をまねて発音。

― 読解と同じで、聞きとる語彙力が必要。

がんばれ！
山門生！
いよいよ夏だ！

紙面の都合上、理科・地歴公民は割愛させていただきます。詳細は三者面談資料をご覧下さい。受験生にとって夏休みの過ごし方は本当に受験を左右します。ご家庭でもご指導宜しくお願いします。

７月の暑い大運動会を
乗り越えた君たちなら、
受験の夏だって
乗り越えられる！